

第5 公営企業の業務の状況

1 電気事業

(1) 平成25年度予算及び経営状況

年間総販売電力量を1億8,000万キロワットアワーと見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益14億5,091万6千円、電気事業費用13億707万円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入1,571万5千円、資本的支出25億5,497万3千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施します。併せて、既存施設の未利用落差を利用した小水力発電開発のモデルとして、宇部・丸山発電所の建設に取り組みます。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されますので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携などを図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 平成25年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増 減 (A)-(B)
年間総販売電力量	179,910 MWH	180,420 MWH	△510 MWH

第12表 平成25年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成25年度 当初予算額(A)	平成24年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収益的収入				
電気事業収益	1,450,916	1,498,497	△ 47,581	96.8
営業収益	1,433,905	1,492,207	△ 58,302	96.1
財務収益	2,737	2,858	△ 121	95.8
附帯事業収益	8,711	0	8,711	—
事業外収益	5,560	3,429	2,131	162.1
特別利益	3	3	0	100.0
収益的支出				
電気事業費用	1,307,070	1,354,703	△ 47,633	96.5
営業費用	1,241,873	1,258,404	△ 16,531	98.7
財務費用	50,059	59,983	△ 9,924	83.5
附帯事業費用	6,822	0	6,822	—
事業外費用	5,313	33,313	△ 28,000	15.9
特別損失	3	3	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	15,715	1,600,479	△ 1,584,764	1.0
資本剰余金	598	476	122	125.6
固定資産収入	1	1,600,001	△ 1,600,000	0.0
雑収入	15,116	2	15,114	755,800.0
資本的支出				
資本的支出	2,554,973	547,648	2,007,325	466.5
建設費	284,500	138,400	146,100	205.6
改良費	461,178	174,589	286,589	264.2
投資	1	1	0	100.0
償還金	206,194	231,558	△ 25,364	89.0
長期貸付金	1,600,000	0	1,600,000	—
補助金返還金	100	100	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額25億3,925万8千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金、減債積立金及び消費税資本的収支調整額)で補てんします。

(2) 平成24年度下半期の業務の概要

平成24年度は、下半期は降雨に恵まれたものの、5月および9月の少雨の影響により、年間を通じた降雨量は、県下主要ダム地点で平年の95%となり、平成24年度の販売電力量は目標に対して82.7%、電力量収入は目標に対して96.6%となりました。

また、経営の安定を図る上から、より一層の経費の節減に努めるとともに、最終の2月補正では、収益的収入予算においては、電力料金収入の減などにより3,212万6千円の減額補正を、収益的支出予算においては、物件費の減などにより888万4千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において14億6,637万1千円、収益的支出において13億4,581万9千円、資本的収入において21億4,443万9千円、資本的支出において4億7,491万8千円となりました。

なお、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施するとともに、既存施設の未利用落差を利用した小水力発電開発のモデルとして、相原発電所の建設に取り組みました。

第13表 企業債及び一時借入金の状況(電気事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成24年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	4,275,000	231,558	2,784,145	1,490,855
錦川水系発電所	1,658,000	88,150	909,107	748,893
佐波川発電所	286,000	15,171	139,378	146,622
木屋川発電所	572,000	29,154	440,978	131,022
新阿武川発電所	248,000	12,381	128,601	119,399
生見川発電所	280,000	22,943	276,407	3,593
本郷川発電所	93,000	7,720	93,000	0
末武川発電所	818,000	39,994	544,400	273,600
小瀬川発電所	320,000	16,045	252,274	67,726
一 時 借 入 金	—	—	—	0

2 工業用水道事業

(1) 平成25年度予算及び経営状況

年間総給水量5億8,200万 m^3 と見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益67億7,853万5千円、工業用水道事業費用57億8,460万2千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入15億5,290万3千円、資本的支出46億3,341万円を計上し、企業債20億5,398万5千円を償還するほか、工業用水の安定した供給に資するため、改良事業として厚東川改築事業などを引き続き実施します。

さらに、需要の開拓をはじめ諸施策に引き続き取り組み、工業用水道事業の経営基盤強化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 平成25年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増 減 (A)－(B)
年 間 総 給 水 量	581,893,950 m^3	581,729,700 m^3	164,250 m^3

第15表 平成25年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	平成25年度 当初予算額(A)	平成24年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収 益 的 収 入				
工業用水道事業収益	6,778,535	7,120,443	△ 341,908	95.2
営業収益	6,770,832	7,113,660	△ 342,828	95.2
営業外収益	7,698	6,778	920	113.6
事業外収益	2	2	0	100.0
特別利益	3	3	0	100.0
収 益 的 支 出				
工業用水道事業費用	5,784,602	6,176,384	△ 391,782	93.7
営業費用	5,179,232	5,496,793	△ 317,561	94.2
営業外費用	595,095	669,316	△ 74,221	88.9
事業外費用	173	173	0	100.0
特別損失	102	102	0	100.0
予備費	10,000	10,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資本的収入	1,552,903	2,291,833	△ 738,930	67.8
企業債	1,400,000	1,400,000	0	100.0
長期借入金	0	253,914	△ 253,914	—
資本剰余金	29,537	490,865	△ 461,328	6.0
固定資産収入	1	1	0	100.0
雑収入	123,365	147,053	△ 23,688	83.9
資 本 的 支 出				
資本的支出	4,633,410	5,455,470	△ 822,060	84.9
建設費	147,300	185,300	△ 38,000	79.5
改良費	2,422,124	2,908,361	△ 486,237	83.3
投資	1	1	0	100.0
償還金	2,053,985	2,351,808	△ 297,823	87.3
予備費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額30億8,050万7千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額)で補てんします。

(2) 平成24年度下半期の業務の概要

平成24年度は、降雨量が県下主要ダム地点で平年の95%となったものの、月ごとの降雨量の変動が大きかったため、年間を通じての実給水量は、契約水量に対し、68.5%(昨年度70.7%)となりました。

また、工業用水の安定した供給に資するため、改良事業として厚東川改築事業などを実施するとともに、需要の開拓、企業債残高の縮減などの経営基盤強化に取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、営業収益の増加などにより1,269万円の増額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより1億2,128万3千円の減額補正を、それぞれ行いました。また、弥栄ダム先行水源を一般会計に移管するに当たり、一般会計からの借入金を一括して繰上償還することとし、その財源として、一般会計から同額の償還費補助金の交付を受けたことなどから、資本的収入予算においては、資本剰余金の増などにより145億9,881万1千円の増額補正を、資本的支出予算においては、償還金の増などにより149億7,380万7千円の増額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において71億3,313万3千円、収益的支出において60億5,510万1千円、資本的収入において168億9,064万7千円、資本的支出において204億2,927万7千円となりました。

第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)

区 分	発行総額	償 還 額		平成24年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	44,121,517	2,333,495	22,504,833	21,616,684
小瀬川工業用水道	2,511,000	144,497	1,304,150	1,206,850
向道・川上工業用水道	1,103,000	45,012	470,015	632,985
周南工業用水道	9,202,000	309,179	2,052,349	7,149,651
佐波川工業用水道	671,000	28,349	249,770	421,230
厚東川工業用水道	6,548,000	256,781	2,598,269	3,949,731
木屋川工業用水道	3,843,000	196,719	1,839,353	2,003,647
生見川工業用水道	1,159,000	106,767	1,018,127	140,873
富田夜市川工業用水道	1,304,000	39,007	366,277	937,723
厚東川第2期工業用水道	2,078,000	98,667	1,059,453	1,018,547
厚狭川工業用水道	2,858,000	147,693	1,538,346	1,319,654
木屋川第2期工業用水道	3,402,000	255,190	2,898,336	503,664
末武川工業用水道	2,046,000	174,711	1,682,206	363,794
佐波川第2期工業用水道	1,463,000	127,433	1,218,927	244,073
小瀬川第2期工業用水道	5,933,517	403,490	4,209,255	1,724,262
一 時 借 入 金	—	—	—	0